

学校法人静岡英和女学院
静岡英和学院大学短期大学部
機関別評価結果
(再評価)

平成24年3月15日
財団法人短期大学基準協会

静岡英和学院大学短期大学部 の概要

設置者	学校法人 静岡英和女学院
理事長名	富田 多嘉子
学長名	武藤 元昭
ALO	大洋 和俊
開設年月日	昭和41年4月1日
所在地	静岡県静岡市駿河区池田1769

設置学科及び入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
現代コミュニケーション学科		100
食物学科		80
	合計	180

専攻科及び入学定員(募集停止を除く)

なし

通信教育及び入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

静岡英和学院大学短期大学部は、平成 22 年度評価の再評価の結果、本協会が定める短期大学評価基準を満たしたことから、平成 24 年 3 月 15 日付で適格と認める。

1. 総 評

平成 21 年 7 月 6 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、その結果、当該短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を一部満たしていないと判断した。すなわち、当該短期大学を設置する学校法人の財務体質が極めて厳しい状況に置かれており、改善計画とその改善計画の確実な達成が必要と判断した。ただし、本協会は当該短期大学を設置する学校法人の改善意思及び改善計画を確認したので、機関別評価結果を保留とした。

平成 23 年 2 月 10 日付で当該短期大学からの申請を受け、平成 23 年度に評価領域 IX「財務」について再評価した結果、下記のとおり「合」と評価したので、機関別評価を適格とした。今後も継続的に自己点検・評価を行い、教育の質保証と短期大学の向上・充実に努めることを期待する。

2. 領域別評価結果

評 価 領 域	評価結果
評価領域 IX 財務	合

評価領域 IX 財務

当該短期大学は短期大学部門、法人とも 3 ヶ年支出超過が続いており、負債も多く、余裕資金も少ないことから、策定した 5 ヶ年の「経営改善計画」を着実に履行し、財務の改善を図るよう指摘した。その後、①学生確保、②人件費の抑制、③管理経費の削減、④借入金の返済等の改善計画の履行状況の報告があり、理事長の決意表明の提出もなされた。

その結果、平成 23 年度の短期大学部門における収容定員充足状況は、改善されている。また、平成 22 年度の財務状況は、短期大学部門及び学校法人全体の収支において支出超過の状態が改善されている。流動比率は改善の傾向がみられる。負債が余裕資金の額を上回っているが、経営改善計画及び中・長期の財務計画が策定されており、それらが着実に実行されている。今後も財務状況の改善のための抜本的な計画に従って、より一層の改善を図ることが望まれる。